

県指定 史跡

重岡キリシタン墓



この墓碑は凝灰岩の平型の伏墓で、長さ180cm、幅86cm、高さは軸部で27cm、両端は22cmという巨大なものである。上面の後部よりには直径約30cmの円の中に花十字が刻まれ、正面軸部中央部に「るいさ」という洗礼名を、その左右に「元和五年（1619）」、「五月廿二日」という没年月日が陰刻されている。この墓碑は地中深く埋まっていたものが発見されたものである。もともと地上にあったものが、幕府のキリシタン禁教令布告後、弾圧が強化され迫害が激しくなったので、一族の者がキリシタンであることが発覚するのを恐れて、地中深く埋めたものであろう。